



# みんな輝け！ しょうわっこ



参観日には、お子さんと一緒に遊んだり、お子さんの頑張っている姿を認めてくださったりして、ありがとうございました。お家の人がいてくれることがうれしくて、友達と一緒に遊ぶよりお家の人と一緒に遊ぶ姿が多く見られましたが、子どもたちが日頃楽しんでいることを垣間見ていただけたのではないのでしょうか。今回は、昭和の自然に触れている様子や子どもたちが遊びの中で経験していること(『学び』や『やってみたい』という気持ち)をお知らせします。

## 美袋八幡神社に行きました(4・5歳児)

幼稚園から歩いて約20分。園外保育にはちょうどよい距離です。「すごいなあ」と思わず声が出るくらい高さの高いクスノキ。「首が痛くなる」と言う子もいました。幹の周りを見込んで手をつないでようやく囲めるくらいでした。樹齢300年ということ子どもたちに伝えると「すごいな」「100歳より大きいの?」と言う子どもたち。

市の天然記念物のラカンマキは樹齢280年。日本の中でも大きい木だから大切にされていることを知り、「へえ、大切な木なんだ。」とうなずく子どもたち。

昭和のまちは素敵な木や場所があることを知り、昭和を好きになってほしいと思います。お家の人も是非、お子さんと一緒に出かけしてみはどうですか。



みんなで手をつないでクスノキの周りを囲みました。思わず歓声が上がりました。神秘的な雰囲気のあるクスノキです。

どれが大きいかな

**「こっちの葉っぱの方が大きいよ！」**

園庭の桑の葉を見て、色々な形があることに気付いたそら組さん。「先生、どっちが大きいか比べよう」と担任と葉っぱの大きさ比べが始まりました。木の葉をよく見て吟味し、「あの葉っぱ取って。あれ、大きい」と。目視で比べられないときは、葉を重ね、どちらが大きいか比べていました。

形の違いに気付いたり、大きい・小さいことに気付いたり、どうやったら大きさを比べられるか考え、実際に試す。小学校以降の学習につながる学びです。何気ない生活・遊びの中に『学び』がたくさんあります。



↑市の天然記念物のラカンマキ



**「できるようになったよ！」**

ほし組さんは、Sports Dayのご褒美にもらったスイングスキップに少しずつ取り組んでいます。最初は難しいから取り組もうとできなかった子も、友達や先生の姿を見て、やってみようとするようになってきました。できるようになると、うれしそうに繰り返しています。

すぐにはできないことにもやってみようとする気持ちを育てていきたいと思えます。

少しでもできるようになったことをしっかり認め、自信につなげていきたいと思っています。



**「お団子、つくろう！」 ↑**

雨上がりの園庭で、3歳児は長靴を履いて、カタツムリを探したり、園庭を歩き回ったりしました。そして、水たまりを見つけた子が手で泥を触ってべちゃべちゃした感触を楽しみ、「お団子ができそう」と言い、担任と一緒に泥団子を作りました。

雨上がりの園庭は、水気が多くて土が柔らかく、いつもとは違うことに気付く。そして、いつもの土とは違うから「団子を作ろう」と思いついています。身近な自然現象に自分から関わっていく姿が、今後の「やってみよう」という意欲につながると思います。

キリトリセン  
あのね…… ( )組 名前( )